

水木だんごづくり
みずき

宇堂口小学校児童

写真提供者 九戸写友同人 村田勝義

人口と世帯

(58.1月末現在)

前月に比べ

世帯数 2,099戸 +1

総人口 8,885人 +1

男 4,396 -2

女 4,489 +3

村の面積 141.60km²

おもな内容

- 農産共励会.....(2)~(3)
- 社会教育の振興方策を協議.....(4)
- スケートまつりを開催.....(5)
- 青年の主張を発表.....(6)
- 洋上研修に参加して.....(7)
- 部落公民館だより.....(8)
- 散歩道.....(9)
- おしらせ.....(10)~(12)



村民憲章

わたくしたち九戸村民は
郷土を愛し
美しい村をつくります。
身体を鍛え
健やかな村をつくります。
仕事に励み
豊かな村をつくります。
決りを守り
住み良い村をつくります。
親切を尽し
温かい村をつくります。
文化を高め
明るい村をつくります。

農産共励会

九八名を表彰

昭和五十七年度九戸村農産共励会表彰式が二月十七日(木)午前十時から山村開発センターで開催されました。冒頭村長が「基盤整備に意を用いるので農業所得向上のためにみなさんも頑張ってください」とあいさつ。

続いて昭和五十七年度の作況報告を吉岡駐在所長が行いました。各作目ごとの優秀賞、優良賞の受賞者等に表彰が行われ、二戸農林事務所長、村議会議長が祝辞を述べ表彰式を終了しました。

また表彰式終了後特別講演「活力ある農業のあり方」と題して岩手県立農業試験場長古沢典夫氏が講演され出席者は、真剣に目をむけていました。

受賞者は次のとおりです。

(敬称略)

- 一、葉たばこ
- (1)多額生産者
 優秀賞 銚子重一
 優良賞 下村藤男、葉沢常雄、野辺地金蔵、向井秀男、滝谷義美
- (2)優良耕作者
 優秀賞 関向勝蔵
 優良賞 小笠原由雄
- (3)葉たばこ品評会入賞者
 二等(パーレー) 桜庭豊吉、関向勝蔵、久保長三郎
- 二、繭多額生産者
 優秀賞 小田沢竹蔵
 優良賞 岩崎アキ、古館利夫
- 三、夏秋キュウリ多額生産者
 優秀賞 杉村鉄蔵
 優良賞 東井茂男、古館勝男、坂下勇治
- 四、夏秋トマト多額生産者
 優秀賞 岩崎鉄蔵
 優良賞 向井清八郎、山本勇
- 五、人参多額生産者
 優秀賞 林直美
 優良賞 岩部義男、沢口金治郎、戸井口三太郎
- 六、にんにく多額生産者
 優秀賞 南重蔵
 優良賞 山下寅蔵、松本正一、段ノ下哲雄、秋元孝一
- 七、サヤエンドウ多額生産者
 優秀賞 上屋敷秀男
 優良賞 小笠原徳男、屋形場勇、宮川孝蔵、坂本留蔵
- 八、サヤインゲン多額生産者
 優秀賞 下村留吉
 優良賞 中村金造
- 九、スイートコーン多額生産者
 優秀賞 真下与吉
 優良賞 大崎政太郎、林直美、七戸勝三、木戸場円男、森勝夫
- 十、レタス多額生産者
 優秀賞 篠山仁三郎
 優良賞 古館勝男、桂川幸治、山本勇
- 十一、グリーンアスパラガス多額生産者
 優秀賞 中村勝巳
 優良賞 段ノ下哲雄、冬部鉄五郎、林直次郎、千葉清治郎、秋元タキ
- 十二、長いも多額生産者
 優秀賞 林米吉
 優良賞 菖蒲沢文治
- 十三、ピーマン多額生産者
 優秀賞 細山政夫
 優良賞 林米吉、下田由夫、高岡宇一郎
- 十四、枝豆多額生産者
 優秀賞 森下由蔵
 優良賞 戸田忠一、七戸勝三、野辺地哲郎、岩部義男、小川龍蔵、下村清五郎、七戸金吾
- 十五、ホトレン草多額生産者
 優秀賞 野辺地繁蔵
 優良賞 立波功吉、森末吉
- 十六、ゴボウ多額生産者
 優秀賞 河村秀夫
 優良賞 林米吉
- 十七、百合根多額生産者
 優秀賞 葉沢常雄
 優良賞 秋元孝一
- 十八、生食大根多額生産者
 優秀賞 杉村鉄蔵
 優良賞 沢口金治郎、円館初雄
- 十九、山ウド多額生産者
 優秀賞 榎本徳男
 優良賞 向平由蔵、古館勝男
- 二十、山ごぼう多額生産者
 優秀賞 真下与吉
 優良賞 岩部義男
- 二一、加工用トマト多額生産者
 優秀賞 岩部徳美
 優良賞 内間正一、坂本兼松
- 二二、加工用大根多額生産者
 優秀賞 真下与吉
 優良賞 林直美、細川専蔵
- 二三、加工用アスパラガス多額生産者
 優秀賞 真下与吉
 優良賞 林直美、細川専蔵

- ▽生まれた方 7人
- △1月▽
 妻ノ神 沢崎智三千 安雄長男21日
 山根 山本健司 正二男24日
 山根 山本康司 正三男24日
 川向 戸田照美 孝一三女24日
 南田 栗谷川吉継 次雄二男26日
 大向 古館美香 稔長女31日
- △2月▽
 山根 館美奈子 福美長女4日
 △死亡された方 5人
- △1月▽
 泥ノ木 山下キヲ 89歳25日
- △2月▽
 江刺二 土肥宗一 90歳7日
 道地 古館仁平 81歳10日
 宇堂口 大久保福太郎 71歳10日
 戸田下 中奥兼松 88歳14日

(1月16日~2月15日届)





講演に目をむける出席者

- 優秀賞 野辺地哲郎
- 優良賞 斉藤覚蔵、林清次郎、
- 下村 清
- 二四、スターチス多額生産者
- 優秀賞 中村万次郎
- 優良賞 坂本留蔵
- 二五、加工用桃多額生産者
- 優秀賞 向平与三郎
- 優良賞 野辺地良江、琵琶坂忠
- 士
- 二六、りんご多額生産者
- 優秀賞 櫻庭重一
- 優良賞 玉川守武、櫻庭重隆
- 二七、ナメコ多額生産者
- 優秀賞 倉口馬之丞
- 優良賞 小田野与八郎、段ノ下
- 哲雄、山本 勇、斉藤正一
- 二八、シイタケ多額生産者
- 優秀賞 松沢義美
- 優良賞 南 重蔵
- 二九、牛乳生産者
- (1)牛乳多額生産者
- 優秀賞 三沢正明
- 優良賞 及川吉三郎、田沢松五郎、本川正一
- (2)経産牛一頭当り多額生産者
- 優秀賞 櫻庭義也
- 優良賞 上平広吉、三沢正明
- (3)需要期多額生産者
- 優秀賞 櫻庭義也

- 優良賞 立波一男、山本勝男
- 三〇 野菜多額生産者
- 優秀賞 林 米吉
- 優良賞 段ノ下哲雄、真下与吉
- 杉村鉄蔵、古館勝男
- ▽りんご共進会入賞者
- 金賞
- 玉川守武、櫻庭重一
- 銀賞
- 櫻庭重一、保大木昭雄、中野裕克、桃木末吉
- 銅賞
- 桃木末吉、大崎福太郎、小野寺一實、櫻庭重一、玉川守武、保大木昭雄、千葉豊重、中野裕克
- ▽岩手県農業祭実行委員会会長表彰
- 野菜輪作多額生産者 林 米吉
- りんご共進会金賞 玉川守武
- ▽岩手県農業協同組合中央会長表彰
- 牛乳多額生産者 三沢正明
- ▽岩手県信用農業協同組合連合会長表彰
- 長表彰
- 夏秋キュウリ多額生産者 杉村鉄蔵
- ▽岩手県経済農業協同組合連合会長表彰
- 長表彰
- 夏秋トマト多額生産者 岩崎鉄蔵
- ▽日本専売公社久慈出張所長表彰
- 葉たばこ多額生産者 銚子重一
- ▽軽米農業改良普及所長表彰
- 野菜輪作多額生産者 段ノ下 哲雄
- レタス多額生産者 篠山仁三郎
- ▽軽米地域うまい果物作り推進協議会長表彰
- りんご共進会金賞 櫻庭重一
- ▽軽米地区農業改良普及協議会長表彰
- 人参多額生産者 林 直美
- 経産牛一頭当り多額生産者 櫻庭義也
- ▽二戸養蚕農業協同組合連合会長表彰
- 繭多額生産者 小田沢竹蔵
- 岩崎 アキ
- 古館 利夫
- ▽二戸管内しいたけ推進協議会長表彰
- しいたけ多額生産者 松沢義美
- ▽九戸村農業協同組合長表彰
- ピーマン多額生産者 細山政夫
- りんご多額生産者 櫻庭重一
- 枝豆多額生産者 森下山蔵
- ▽キッコー食品岩手工場長賞
- 加工トマト多額生産者 岩部徳美
- 岩部徳美
- 内間正一
- 坂本兼松
- ▽岩手缶詰株式会社社長賞
- 加工用アスパラガス多額生産者 野辺地哲郎
- 野辺地哲郎
- 齊藤 覚蔵
- 林 清次郎
- 下村 清
- 加工用桃多額生産者 向平与三郎
- 野辺地良江
- 琵琶坂忠士

むらさきの文芸

第136回瀬月内月例会

- 小野 耕春
- 福壽草陽の分身として咲けり
- 漁火を寒灯として漁夫貧し
- 藪柑子狭庭の闇に朱を点す
- 初鶏や不夜城めける鶏舎群
- 冬部 雪女
- 冬うらら人形の髪梳く童女
- 寒灯下妻の鉄の小鈴鳴る
- 老のみが守る田畑や寒雀
- 横井 萌生
- 冬枯の中に灯点す児童館
- 隙間風蕩で寒ぎて納屋仕事
- 神田 こくし
- 快晴の二文字大きく初日記
- 洞穴に神の在すか岩氷柱
- 古館 やすお
- 寒灯や終バス発ちし駅広場
- 初鶏や寄り添ひ二軒藁屋かな
- 八重樫 哲人
- 峡の奥一寒灯に径果てり
- 橙を据えてめでたし神の棚
- 梅津 桑丘
- 温石の塩黒ずみて共白髪
- 千葉 秀女
- 東天や淑気漲る茜雲
- 高島ふみ女
- 雪明り未明の樺の疎林より
- 田村 哇畔
- 温石を子等の数だけ包む母
- 村松利みち
- 初鶏や峡の清閑覚めにけり

社会教育の

振興方策を協議

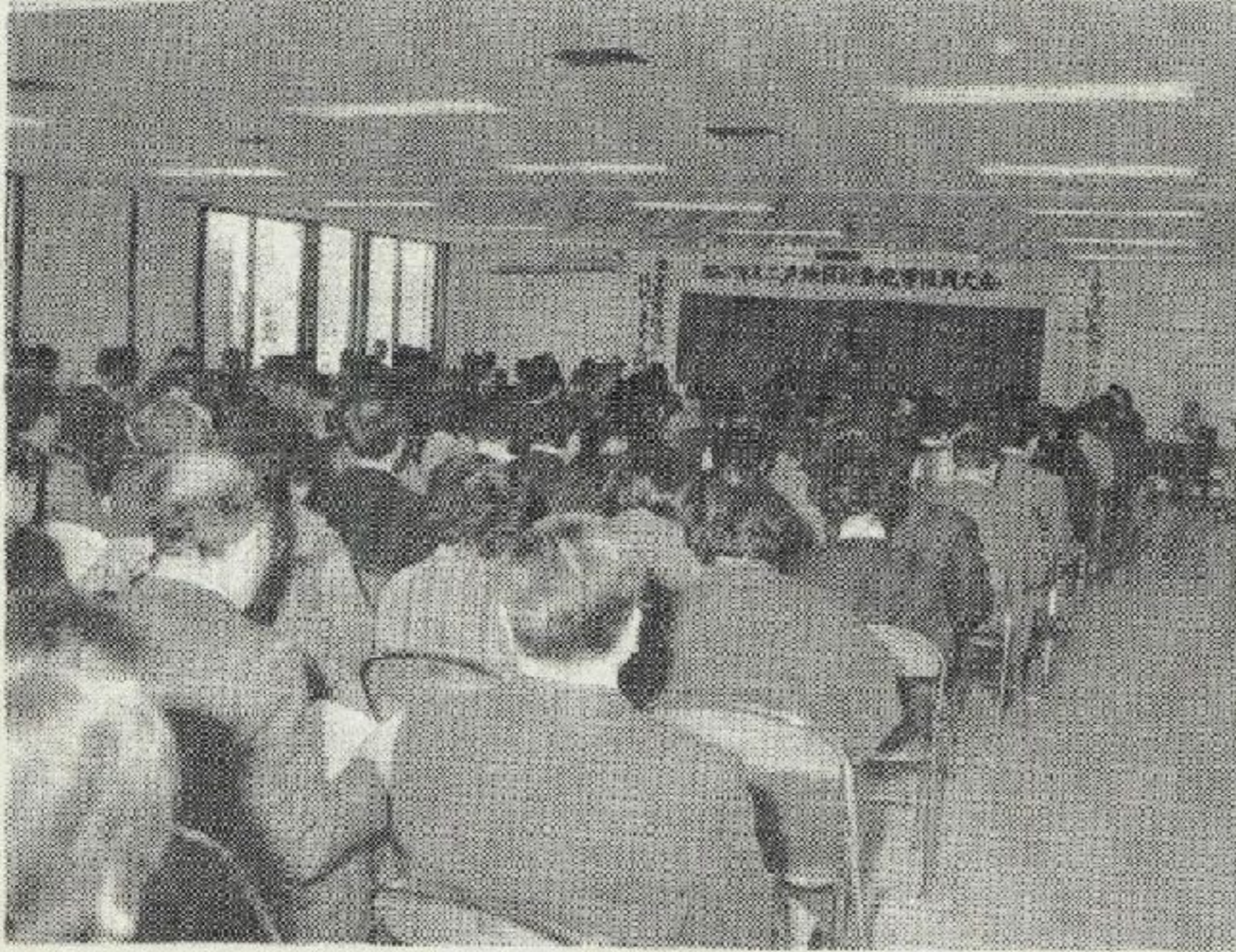
二戸地区社会教育振興大会

昭和五十七年度二戸地区社会教育振興大会が二月二十二日(火)九戸村役場で開催されました。この大会は、「社会教育推進のための、体制と事業展開はどうあればよいか」を主題に掲げ、出席した一六〇名によって話し合いが行われました。

開会行事では、二戸教育事務所長須藤克巳氏、二戸地区社会教育連絡協議会長玉懸邦士氏があいさつにたち、九戸村教育委員長野辺地三蔵氏が「大雪にもかかわらず遠路九戸村までおいで下さいましてありがとうございます」と歓迎のあいさつをのべられました。

青年教育部会では、青年団体活動の充実のために「青年地域活動」のすすめ方はどうあればよいかについて浄法寺町中央公民館主事小田島義明さんと九戸村教育委員会社教係長宮川誠市さんが問題提起を行いました。

の社会教育」と題して青森県十和田市社会教育課課長今純一郎氏が講演を行いました。全体会では、それぞれの部会研究協議の内容を、少年教育部会は九戸村派遣社教主事十文字誉範さん、青年教育部会は浄法寺町派遣社教主事立花秀美さん、婦人教育部会は一戸町派遣社教主事阿部実さん、社会体育部会は軽米町派遣社教主事藤田重治さんがそれぞれ発表し、昭和五十七年度二戸地区社会教育振興大会を終了しました。



振興方策を協議した
二戸地区社会教育振興大会

開会行事に続いて、二戸地区社会教育功労者表彰が行われ、二戸市金田一浅倉治圭氏、軽米町上館鶴飼宇太郎氏が受賞の栄に浴しました。分科会では少年教育部会、青年教育部会、婦人教育部会、社会体育部会の四分科会に

分れ真剣に意見交換が行われた。少年教育部会では、「ふるさとに生きるわれら」と題して一戸町奥中山公民館館長補佐山火洋次郎さんが奥中山地区青少年地域活動について問題提起。また「少年少女教室」を開設してと題して軽米町教育委員会社教指導員本宮裕子さんから問題提起があり、少年問題について話し合われました。青年教育部会では、青年団体活動の充実のために「青年地域活動」のすすめ方はどうあればよいかについて浄法寺町中央公民館主事小田島義明さんと九戸村教育委員会社教係長宮川誠市さんが問題提起を行いました。



問題提起を行う伊保内第二区体育振興会事務局長
中村国夫さん

婦人教育部会では「婦人団体活動の充実のために婦人ボランティア活動のすすめ方はどうあればよいかについて二戸市教育委員会社教指導員菊地美智子さんが、また「婦人ボランティア活動」について安代町教育委員会社教指導員津島幸子さんが問題提起を行いました。社会体育部会では、地域総参加スポーツ活動をめざしてと題して奥中山地区スポーツ振興会副会長金沢弘人さんが、一方「地域スポーツ活動のすすめ方は、どうあればよいか」と題して伊保内第二区体育振興会事務局長中村国夫さんが問題提起を行いました。分科会終了後「生涯教育として

みんごの健康

動脈硬化、肥満防止に

繊維質を含む野菜のかさばりは満腹感を与えて食べすぎを防いでくれます。

野菜ぬぎに食事をすると、つい食べすぎ、脂肪や、糖質の取りすぎになってしまいます。

繊維質は野菜や果物から自然な形でとって健康美を保ちたいものです。かぼちゃ、にんじんには水にとけるペクチンという繊維質が含まれています。

ペクチンには動脈硬化の原因となるコレステロールを取り去る働きがあります。コレステロールは大きく分けて二つのタイプがあり、脂肪の消化を助けたり、ホルモンの原料となり重要な働きをしているものもあります。

一方では血管壁にたまって動脈硬化をひき起すものもあります。

ペクチンはこの害になるほうのコレステロールだけを除いてくれます。血圧が気になり始めた方は特に、食事の中にペクチンを含む野菜をとり入れることを忘れず、ペクチンを多く含む野菜

かぼちゃ、にんじん、ジャガイモ、くわい、干びょう、ごぼうなどです。

スケートまつり を 開 催

長興寺小学校

長興寺小学校全校スケートまつりが二月十二日(土)午前九時から校庭に作ったスケートリンクで開催されました。

このスケートまつりは、スケートリンクの決まりを守って、仲良く滑れるようにすることと氷上での運動を通して事故のないスケートができるようにすることを目的に行なわれました。

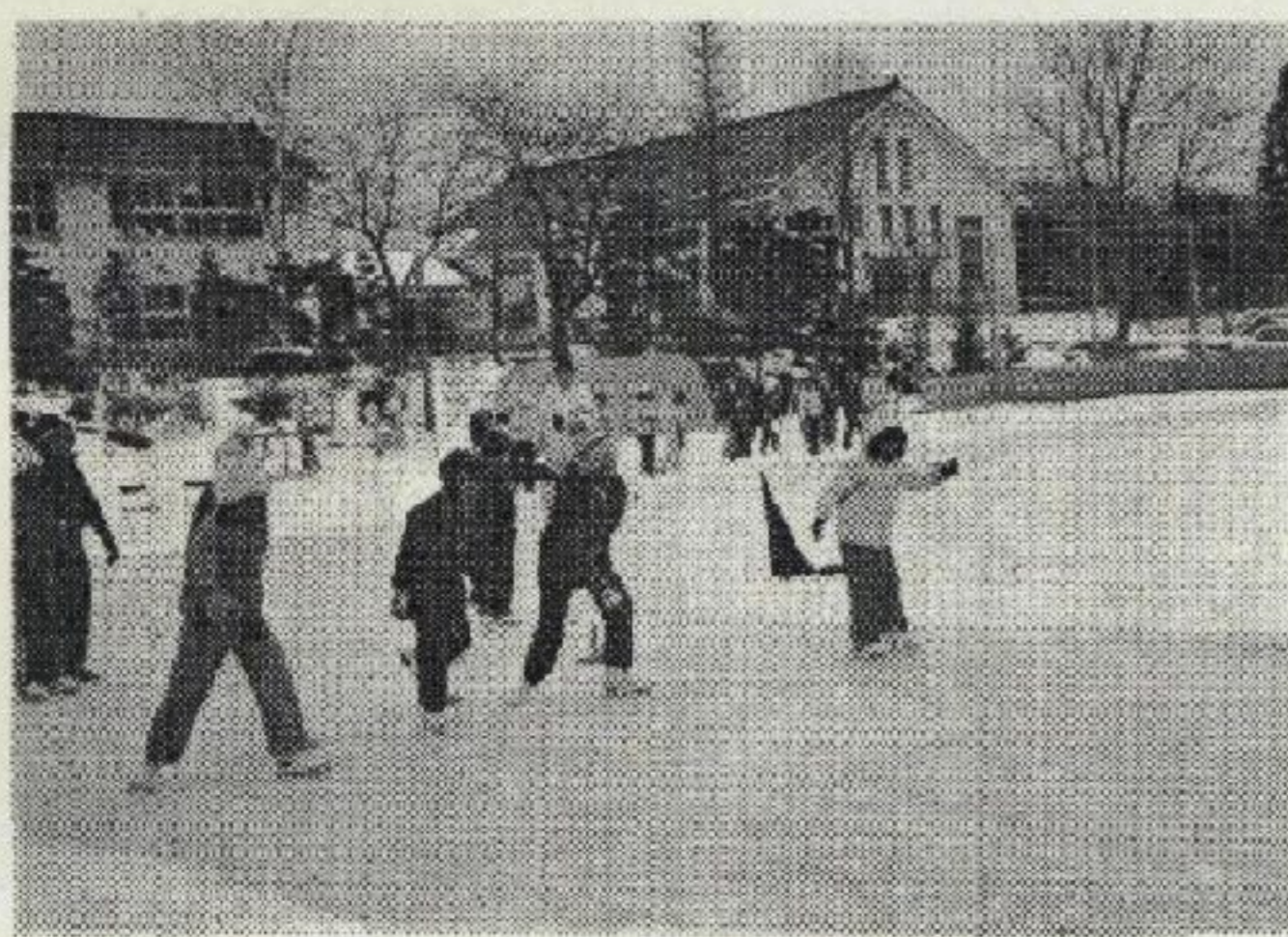
競技に先だち「このスケートリンクはみんなのためにお父さんたちが作ってくれました。これに答えるためにも勉強にスケートに頑

張って下さい」と教頭先生がお話しになりました。続いてスケートリンク使用上の注意がありさっそく全員思い思いに滑っていました。

競技では、一・二年生は一周競走、三・四年生は二周競走、五・六年生は三周競走や各学年二組対抗によるレースが行なわれました。

また出席した父兄が児童にチャレンジしましたが、差で児童のほうが勝ちました。

このリンクは、毎年父兄・教師児童の三者で管理しており、三月一杯は滑れるようにしたいと山添



校長先生は話しております。

「スピードおとせ アット思ったら きゅうきゅうしゃ」

交通安全標語入賞者を表彰

た。

標語入選作品は次のとおりです

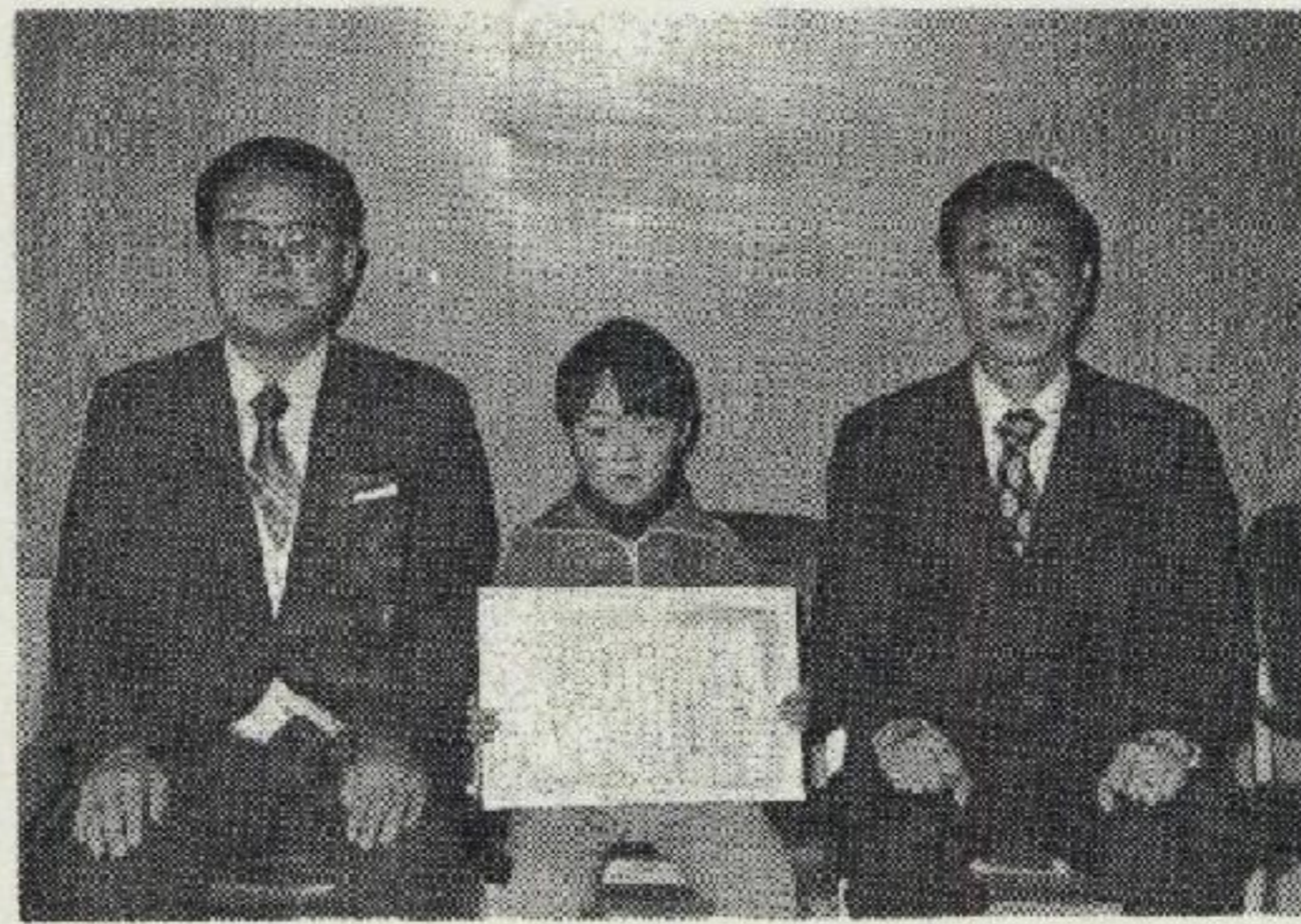
▽金賞

スピードおとせアット思ったらきゅうきゅうしゃ 一年坂野上孝広
おみやげはむじこでいいのおとうさん 二年藤井 好幸
あぶないよよそみとびだしじこのもと 三年福田 徳昭
一秒を急ぐ一歩が事故のもと

道路では遊ばぬ約束ママとぼく 四年村田 千春
安全は渡るゆとりと待つゆとり 五年日野沢雅子
六年坂野上志保

▽銀賞

運転手さんよく見て走ろう通学路 一年柳平 幸子
待ってます事故ない世界はやくこい 二年久端 幸宏



賞状を手にする藤井君と
桜小路校長、古川支部長

青信号でもきちんと思えよう
右左 三年日影 貢
シートベルトで今日も安全あした

の幸福 四年皆川 純
シートベルトみんなでしめれば事故もなし 五年坂下 治男
気のゆるみみだす心が事故のもと 六年斎藤 章代

▽銅賞

この道はあなた一人の道でない
ルール守って今日もニコニコ 一年橋本 健一
ルールを守ってみんな笑顔 二年村田 孝行
心のまよいがあなたを事故に 三年東井美穂子
急がないあわてない心にゆとり 安全運転 四年触沢 明徳
急いでもきちんとして手をあげ 渡ります 五年下田 慶子
小さい子供老人見たら赤信号 六年及川千賀子

選挙だよ

明るい選挙シリーズ その17
選挙と小話
馬車ひきと神さま

雪どけの泥道を、重い荷車をひいたやせ馬が歩いていました。馬はもうつかれてはてて、むちをあてられても一歩も進みません。倒れそうです。馬車ひきは困ってしま

い、「神さま、どうぞおたすけ下さい」と祈りました。ところが神さまは「なまけ者が、自分で肩を入れて馬車を押してやればよいのに。自分は何もしないで、馬ばかりたいてどうなるものか」と助けてくださらなかったという事です。

何事も自分で努力せずに、神頼み、人頼みばかりでは、よい結果は得られません。良い政治は、みんなの努力と、汗でかちとるものです。



青年の主張を

発表

九戸村青年文化大会

昭和五十七年度九戸村青年文化大会が二月五日(土)戸田小学校において開催され、多数の観客で

にぎわいました。

今年の文化大会は、各単位会から一名ずつ意見発表が出され、内容も充実されました。

開会式では、久保幸男村青協会長が「村内の若者が一同に会し、発表し合うことは、非常に意義あることだと思います。また戸田婦人会・妻ノ神婦人会のみなさんには大変お世話になります」とあいさつ。さっそく意見発表からはじまりました。

この文化大会には、青年会員の発表の他戸田婦人会、妻ノ神婦人会のみなさんも踊りを披露し、花を添えてくれました。

閉会式は、老人福祉センターで行なわれ、入賞者に賞状がおくられました。また審査委員長中野末蔵氏が「地元戸田・妻ノ神婦人会のみなさんのご協力に対し、厚くお礼申し上げます。意見発表は、それぞれの主張をのべられていて大変よかった今後もっともっとのばして行ってほしい。舞踊は、全

体的に練習不足がめだった。演劇は、女子会員が少ない中で演技された江刺家青年会の方々ばかりだった。音楽は音のバランスを考へてほしい。今後においても青年達のますますの奮闘を期待します」と講評されました。

◎審査員

中野末蔵、八重樫哲、和田 敏

桜庭 孝、宮川誠市、久保幸男

◎入賞者

一、意見発表の部

優秀賞

上村浩之(山根青年会)

古館 清(江刺家青年会)

奨励賞

バンド演奏を発表する

戸田青年会



演劇「毒きのこ」を上演する江刺家青年会

伊保内寛也(伊保内青年会)

努力賞

岩淵 和夫(戸田青年会)

西野 誠(泥ノ木青年会)

本堂 信幸(荒谷青年会)

二、演劇の部

優秀賞

江刺家青年会「毒きのこ」

個人演技賞

上山 由巳(江刺家青年会)

三、音楽の部

優秀賞

戸田青年会(岩淵和夫とセコイズ)

四、舞踊の部

優秀賞

田村義弘・山本久夫

「おやじの海」(伊保内青年会)

脇沢智子
「白虎隊」(長興寺青年会)

努力賞

大崎次夫
「男傘」(長興寺青年会)

和田和子

「白虎隊」(山根青年会)



「おやじの海」

田村くん(右)、山本くん(左)

「白虎隊」

脇沢 智子 さん



意見発表を行う

古館くん(右)

上村くん(左)



婦人の船洋上研修に

参加して 錠内昭子

一月二十八日、岩手県婦人の船洋上研修に県内各、市町村から、三百九十八名が参加すると言う事で、私達は、交通の不便により一ノ関で一泊し、朝大船渡に向かいました。だんだん、大船渡に近づくと、私は、不安になって来ました。

開講式も終り、中村知事の婦人



錠内昭子さん

青年の船に参加して

伊保内寛也

本村から青年の船に参加したのは私と小川さんの2名でした。船での生活は講義、講話・研修・係・クラブ等に朝から夕方まで時間が分けられており、講義には元新日鉄釜石ラグビー監督の小藪さんなどがみえられ、たいへんた

めになり、また興味のあるお話しをして下さいました。研修は、地域別（二戸地方）で私達二人は医療問題について調べ発表し話し合いました。ゼミは「高速大量交通時代における商工業と観光」という課題を選び、問題点を検討

しこれからの発展に向けて活発な話し合いをしました。係は広報係で新聞発行が仕事でした。始めは



伊保内寛也さん

少年・青年・婦人の船に参加して

その一

に期待するものと言う、お話しがありました。新さくら丸は、一万五千トンの日本最大の客船で、ホテルが、海水に浮かんでいるようにでした。青少年の健全育成と婦人の役割と言うテーマで、話し合いを進めているうちに、私は、ふと、第三者が話し合っても、意味

のないような気がしました。親は子どもの鏡だと言います。次代を担う、青少年のためにも、お母さん達の婦人活動や若妻会のような若いお母さん達に参加してもらいたいと思いました。そうしたら、洋上研修も、今以上にすばらしいものになると思えました。今後の活動に期待したいと思えます。何事も始めての経験なので、とまどう事ばかりでしたけれども、また、このような機会がありましたら、参加させていただきたいと

思っています。船長さんを始め、関係者の心使いで、船酔いもせず、天候にも恵れ、無事三泊四日の日程を終え、晴海港に着きました。

「いわて少年の船」を終え

木村哲也

結果、充実し切った毎日の生活の中から、本当に色々なことを教えられ、そして、とても楽しい三泊四日の研修であった。

まず言いたいのは、自分は担当の先生という面で、大変恵まれたと思う。高橋先生というユーモアたっぷりの方であった。この先生



木村哲也さん

なれないため夜の2時までかかったこともありました。青年の船には、二十歳から三十歳までのいろいろな職業の青年が乗船しており、その人達との交流は私の視野を広め、また青年としての私の今後の地域活動への役割

最後に婦人の船に関して協力して下さいました、村の関係者並びに、各位の方々に対して深く感謝すると共に、今後もし指導よろしくお願いいたします。

から学んだことも、すごく大きなものがあり、絶対に忘れられない。研修行事もたくさんあったのだが、初めに思い浮かんでくるのは、フェスティバル(運動会)、静岡の少年との交歓会だ。フェスティバルでは、組別で、全員はりきってハッスルしたし、交歓会では、今後はまずないだろう静岡の少年との付き合いながらの夕食。この時は特に盛り上がりが、楽しかった。

このような中で、友達になれたみんなとの別れはつらかった……この研修への名誉な参加は、一生忘れられないものとなる。

を自覚させてくれました。これからはこの体験を土台として、生きていきたいと思っています。最後にこのような貴重な学習の機会を与えて下さった関係者の皆様から感謝申し上げます。

部落公民館だより

(18)

二ツ家部落公民館

九戸村の皆さん、一寸お邪魔致します。私達の部落は、一口に言う和二ツ家と言います。国道三四〇号線沿いにある八幡宮から東に入る山形線を約四〇〇メートル行くと二ツ家部落になります。高校入口附近から山形線沿い約四キロメートル内に二ツ家、桎切沢、大

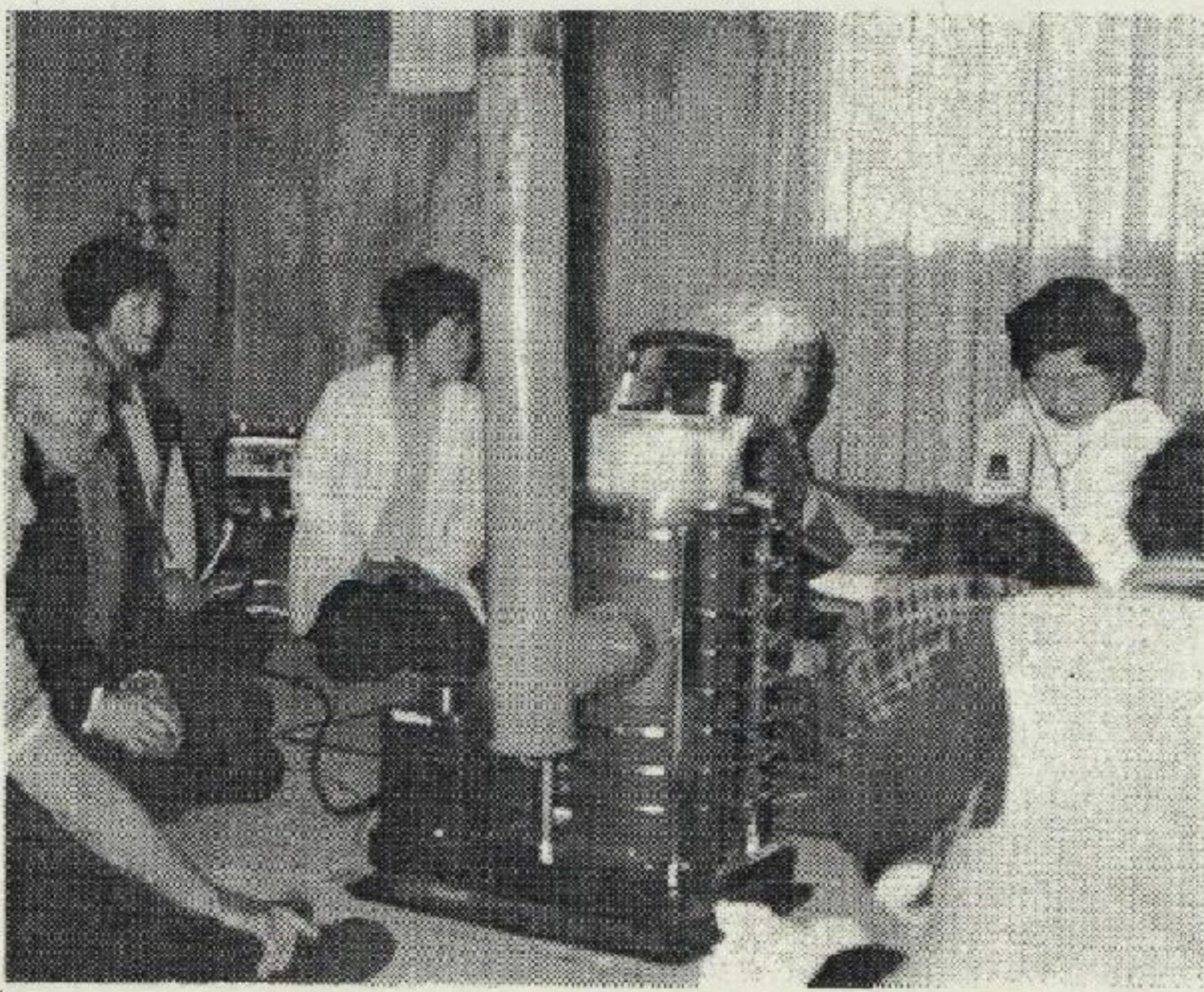
下の集落があり、三二世帯、人口一三二人、行政区四班で構成されております。まだ二、三軒の家が建っており、近々入籍し、二ツ家部落民となる事と思えます。二ツ家部落民は山形村から来た方々が多いのですが、それは山形の荷輕部、日野沢、木藤古の人達が伊保

内に来る途中にある部落であるからだと思えます。二ツ家部落の農家は主として水稻と野菜をつくっておりますが、ほとんどが兼業で勤め人が多くなっております。さて、本題の公民館ですが、私達の部落には戦時中に、中村初雄さんから土

地を借りて建てた、三十三平方メートルの平家建の公民館がありました。配給用肥料倉庫として、又集会の場として利用しておりました。配給制度がなくなると倉庫もなくなりました。終戦後はあまり部落で集まりをもつこともなかったのですが、十年、一五年と経つにつれ、いろいろな相談事や部落の行事が多くなって、そのたびに部落民の広い家の方々にお願いし、場所を変えながらやってきました。このようなことから、不便を感じ、部落で集会所を建てる機運が高まり、今の公民館が建てられることになりました。建築したのは昭和四十年でした。県道山形線道路路端の桎切沢弘明さんの所有地を無償でお借りして、村より九万九千円、伊保内財産区より松、栗の立木五十石を補助して頂き、総工費三十五万二千円、そして部落の労働奉仕により、木造平屋建五十平方メートルが完成したので

す。諸設備は部落民みんなで出し合いながら整え。納税組合が設立してからは奨励金を積み立てながら、そのお金を新設備や修理の費用に充てました。奨励金を他の部落では旅行等に使っている所があるようですが、私達の部落では公民館等の費用に向けております。公民館の利用は、部落の総会はもちろんのことですが、行事では十年程前迄は、田植の終わりにみんな豊作を祝い御神酒をあげました。お盆にもあげました。虎舞の練習にも使っています。お祭りの時は老若男女みんなが集まり、虎舞に出ている人達と一緒に夕食を食べ楽しく過ごします。子供会や子供会育成会でも使っています。特に、夏休みや冬休みには親子が共に泊って、勉強の場としております。健康管理の面でも、役場の保健婦さんから血圧測定をしていただいたり、塩分についてのお話を聞いたりします。手打ちソバの作り方の講習もしました。桎切沢ヘルさんから青年三十人位が教わっていました。私達の公民館は三十人にもなると、とても窮屈になります。なんとか広くしたいと思っております。皆様のご指導をお願い申し上げます。致します。

保健指導「血圧測定」を受ける住民



二ツ家部落公民館長
岩本福治郎

村内の交通事故

◇2月の人身事故	0件
(1月20日~2月28日まで)	
死者	0人
傷者	0人
◇累計	1件
(2月28日まで)	
死者	0人
傷者	1人
◇昨年1年間の人身事故	19件
死者	0人
傷者	22人

飲酒運転検挙者

戸田地区	0名(0名)
伊保内地区	1名(0名)
江刺家地区	1名(0名)
合計	2名(0名)

58年2月末現在

()内は、他市町村内で検挙された人数。

交通安全教室

子どももの交通

安全県民運動

四月四日(月)

四月十三日(水)

十日間

ふるさと

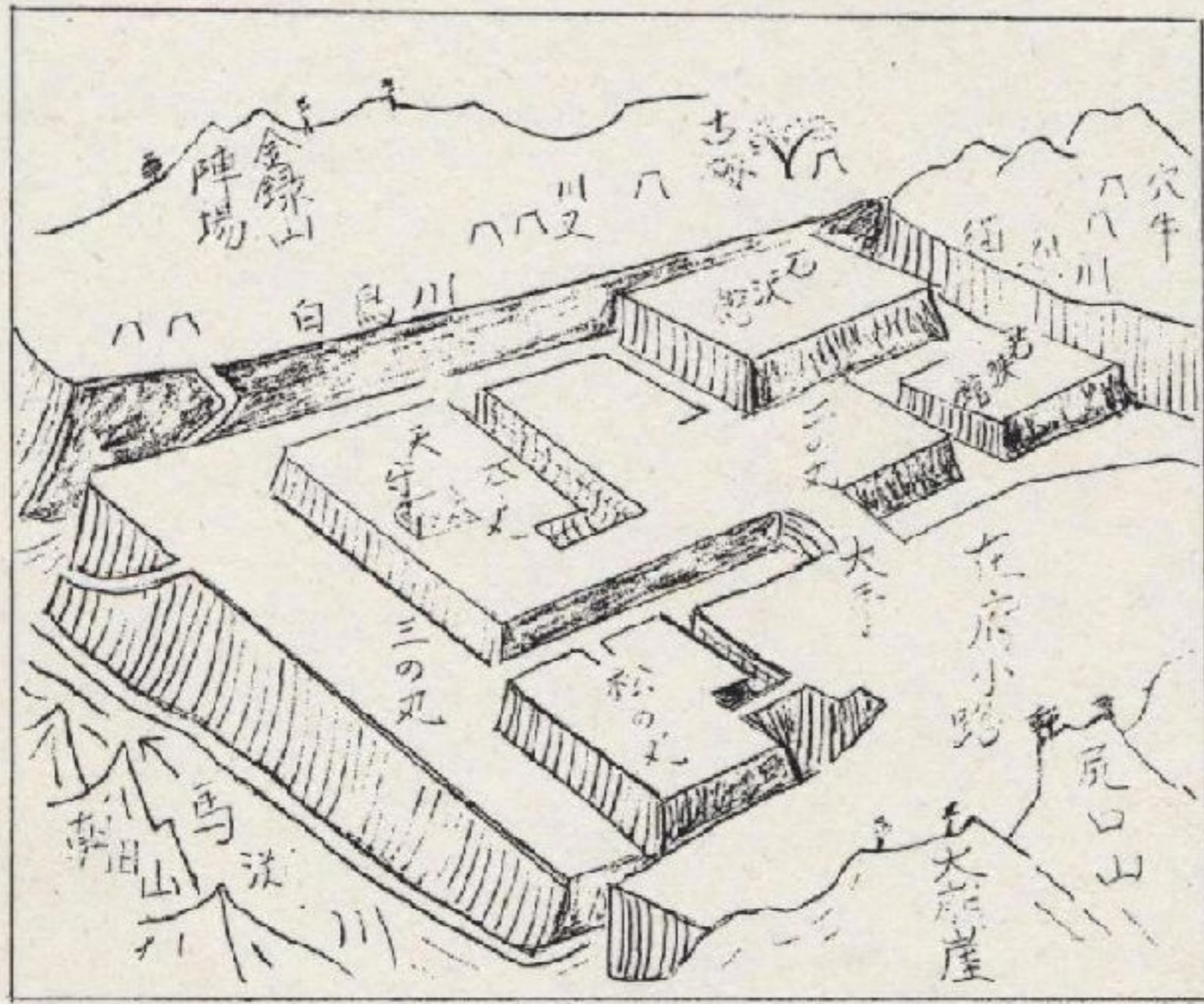


再考

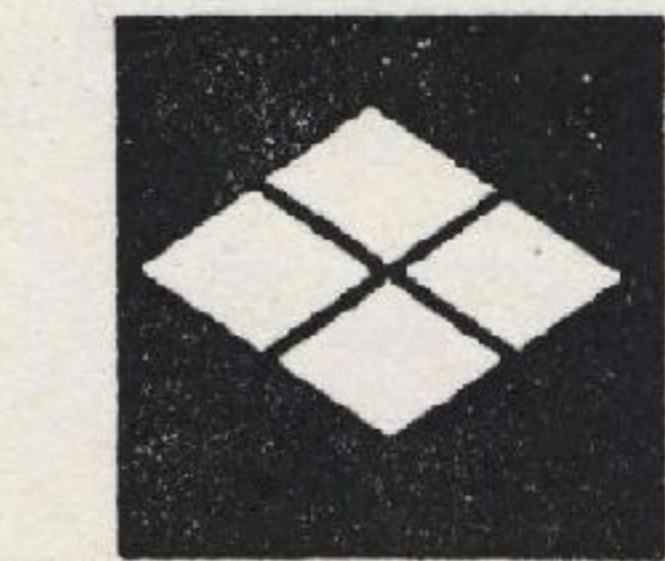
九戸政実

の乱(二七)

△九戸城攻防戦▽「田舎の小城」ふみ潰してくれんと計りに来攻した中央軍も、姉帯の合戦によって九戸党の底力をみせつけられ、九戸城の堅固さを眼の辺りに見



九戸城鳥瞰図



九戸政実の乱と村のことわざ

み大抵では攻略できない」という共通した気持ちになったばかりか、一種の畏れさえ感じた。

一方、九戸城本丸では政実をはじめ、首脳が集って作戦を練っていた。「とうとう来るべき時が到来した」政実がいった。

九戸城を取りまく周囲には、各軍勢の旗がひらめいている。軍馬の嘶きも聞えてくる。偵察のためか数人を一団と

した兵が城に近づいてくる。戦鬨気分だんだんと盛り上っている。蒲生氏郷は八月二十四日夜、評議を開き、二十五日早朝一斉攻撃することを指令した。二十五日早朝「ええ」「おおう」関の声はあがった。これに呼応するよう

に、九戸勢も関の声をあげた。九戸城攻撃の宣戦の合図であった。蒲生勢の田丸中務が先頭に起って、先ず大声で名乗りをあげた。

「九戸政実確かに聞け。太閤殿下のご治世に、その威光に背き領主の下知に背き、あまつさえご威光に反逆するとは不届至極。よって蒲生飛騨守氏郷をはじめ、諸將こそっておん身を征伐に宮野へ下向した急ぎ腹切り給え介錯して取らせん」。これは九戸城攻略の宣戦

に、九戸勢も関の声をあげた。九戸城攻撃の宣戦の合図であった。蒲生勢の田丸中務が先頭に起って、先ず大声で名乗りをあげた。

村のことわざ

▽良将は戦わずして勝つ。|| 名將は戦わずに智恵をめぐらして勝つ、というたとえ。

▽可愛い子には旅させよ。|| 人は苦勞しなければ、役に立つ者にならないというたとえ。

▽ミツバチは花粉の仲立ち。|| ミツバチは果樹や野菜作物の花をまわって、花粉受精に一役買うもの

▽コブシの花が多く咲く年は豊作

布告であった。

政実これに答えなかった。それは反逆人として攻撃うけているので、弁明など無駄であると考えたからだ。政実が「たかが知れた者に返答無用、鉄砲組は敵を一斉に打ちまくれ。敵が怯むところを楯引・七戸は大手を開き敵勢に打ちかかれ」と下知した。第一回攻撃で田丸勢既に二百七十人を失ってしまった。

もう一隊は、若狭館南側から攻撃してきたこの攻撃も、一発で二、三人づつの損害となり間もなく退き、第一回合戦は攻撃軍の敗戦に終り、辺りは又静かになってしまった。

|| 又上向に咲くと豊作という。

▽病は口から入り、禍いは口から出る。|| 病氣は食欲からおこり、禍は失言から起きること多い意。

▽寄らずさわらず。|| 干渉もせず差し出口もせずで、われ関せずの態度をいう。

▽女房に惚れて家内安全。|| 女房に惚れて毎日暮らしていれば家中平和、波風立たぬこと。

伊保内郵便局

からの

お知らせ

郵便・電報・電話の窓口取扱時間は、二月十四日から次のように変更になっています。

平日 午前九時から午後五時
土曜日午前九時から午後〇時
三〇分

日曜日・祝日は、取り扱いません。詳しくは郵便局におたずねください。

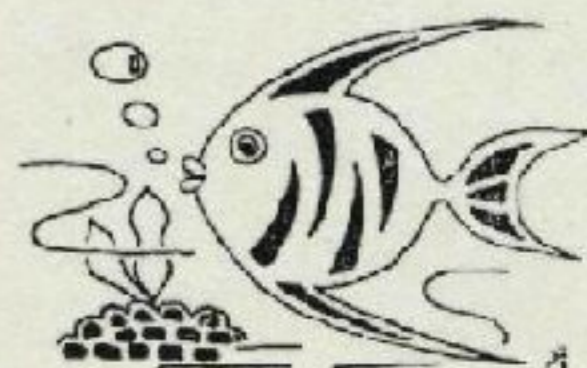
山火事を無くして

築く豊かな緑

岩手県火災予防運動

2月15日～5月31日まで

おしらせ



九戸村お知らせ電話
2-3500

あなたは犬を

正しく飼って

いますか

◎危険防止のため放し飼いはやめましょう。

冬場は野犬が山から降りて群れをつくり、ゴミ捨場や畜舎また家庭の残飯等を求めて放浪します。その範囲はだいたい三キロ平方メートルのなわばりをつくり数頭いる場合は必ずその中にボスの存在の野犬がいて群れを率いています。最近放し飼いの犬が多く見受けられます、このような犬の放浪が長びくと野犬化したり、野犬に混って人畜に危害を与える恐れがありますので放し飼いは絶対にやめましょう。

◎村内一斉に野犬狩りを行います。

村では野犬の捕獲に努力していますがなかなかその数がへりません。そこで野犬による事故を未然に防ぐため九戸村猟友会の協力を

得て野犬狩りを実施しますので飼っている犬は放し飼いないうちで充分注意しましょう。

期間は三月七日から四月十五日までの間です。

この期間中には飼っている犬、野犬を問わず放浪している犬は猟銃、毒エサ、捕獲オリ等による捕獲の対象になりますのでご注意ください。

なお、捕獲した犬は抑留しますが抑留してから三日以内に引き取りがない場合は処分されます。

◎犬の被害があったら届け出ましょう。

最近犬による被害が多発しています。犬による被害があったら早めに保健所か役場へ届け出するようにならなう。

また飼っている犬の放し飼いが見受けられたときは役場へ連絡して下さい。

◎不用犬の引き取り

飼っている犬が不用になったときは毎週火曜日と木曜日に二戸抑留所で引き取ります。また毎月第一水曜日役場または支所で引き取ります。

◎犬の事で詳しく知りたいときは二戸保健所衛生課または役場住民課へご相談下さい。

交通安全推進 コンクールを実施

第十回二戸地方交通安全推進コンクールが今年も開催されます。このコンクールは、二戸管内の事業所・団体および一般の参加を

あなたの「胃」は だいじょうぶですか

働き盛りのあなたの健康を守るために胃検診をお勧めします。◎胃ガンで年間五万人が亡くなっています。

胃ガンが最も多いことは国際的にみて日本の特徴です。働き盛りの三五歳から六〇歳においてはガン死亡率の第一位を占めています。胃ガンで亡くなる人の数は年間五万人、そしてガン死亡は年々

求めて、お互いに無事故・無違反を競いあうことにより交通事故防止に寄与し、あわせてシートベルト着用の推進を図ることを目的に開催されるものです。

△実施期間
昭和五十八年四月一日から昭和五十八年九月三〇日まで。

△主催
二戸地方交通安全対策協議会

△後援
各報道機関、各商工会

△参加対象
工場、会社、商店等車両（50C以下を除く二輪車をふくむ）を有する事業所・団体および一般。

△参加車両は配付された「第十回二戸地方交通安全推進コンクール参加車両」ステッカーを実施期間中必ず表示して走行するものとす

ふえています。

◎ガンの危険信号は！

胃ガンをはじめ、ガンの初期の場合ほとんど症状がありません。症状があらわれたときはもう手遅れに近いことがほとんどです。◎ガンは早期発見、早期治療でなおります。

このように恐しい胃ガンでも早期発見、早期治療で完治することが出来ます。

今まで特に症状のなかった方でも一年に一回、定期検診をお勧めします。

▽事故・違反の扱い
次のものは、事故・違反があったものとする。
一、交通事故（物損事故、人身事故）
二、飲酒運転、無免許運転、速度違反等で検挙されたもの。

▽無事故・無違反の表彰
本コンクール終了後、事故・違反の有無を調査し無事故・無違反のもので参加車両五台以上の事業所等に賞状および優良賞を、四台以下の事業所および一般に優良賞を授与する。

▽参加申込み
参加車両一台につきステッカー代一〇〇円を添えて申込みするものとする。

▽申込先役場総務課および各支所

◎胃検診は、まずバリウムを飲んで胃の間接撮影写真をとります。村では移動検診車による胃検診を毎年一回実施していますが、今年四月に実施予定していますので受診希望者は早めに役場住民課または保健推進員までお申し込み下さい。（注意、現在胃腸病で通院中の方、また妊娠中の方はご遠慮下さい。申込みは満四〇歳以上の方に限ります。）

◎検診日程及び検診料などは広報、チラシ等でお知らせします。

◎胃検診は、まずバリウムを飲んで胃の間接撮影写真をとります。村では移動検診車による胃検診を毎年一回実施していますが、今年四月に実施予定していますので受診希望者は早めに役場住民課または保健推進員までお申し込み下さい。（注意、現在胃腸病で通院中の方、また妊娠中の方はご遠慮下さい。申込みは満四〇歳以上の方に限ります。）

◎検診日程及び検診料などは広報、チラシ等でお知らせします。

◎検診日程及び検診料などは広報、チラシ等でお知らせします。

ありがとう献血

昭和57年度の献血推進には沢山の方々からご協力頂きました。目標数325本に対し356本の献血があり目標を越える実績を得ることが出来協力下さった方々のまごころに対し深く感謝いたします。

実施期日	実施場所	前年度実績	57年度採血状況			
			目標数	受付	下適	採血数
4月28日	阿繁プロイラー九戸工場	長興寺 35	35	24	2	22
	伊保内小学校	伊保内 52	50	25	6	19
6月30日	(有)九戸精密	長興寺 18	18	17	1	16
	ふるさとセンター	江刺家 一	15	25	1	24
11月4日	保健センター	伊保内 49	一	24	2	22
	伊保内高校	二ツ家 115	115	115	12	103
12月17日	阿部悦三商店	鹿島 19	19	29	2	27
	保健センター	伊保内 一	一	53	5	48
2月9日	老人福祉センター	戸田 一	15	23	2	21
	保健センター	伊保内 58	58	58	4	54
合計		346	325	393	37	356

目標数325本 献血数356本 (達成率110%)

税金の滞納は割に合わない

申告納税制度の下では、正しい申告をするとともに、納期限までに納税することになっていきます。この納期限までに完納されないと、滞納ということになります。△滞納したときの延滞税△

延滞税の額は、納期限の翌日から完納する日までの日数に応じ、未納となっている本税に一定の割合を乗じて計算します。この場合の延滞税の割合は、納期限の翌日から一月を経過する日までの期間については年七・三パーセントですが、一月を過ぎますと年一四・六パーセントになります。△滞納したときの強制徴収△税金が納期限までに完納されない場合には、まず督促が行われます。その後一〇日を経過してもな

お納税がなければ滞納処分が行われ、納税者が所有している不動産、不動産や債権などの財産に対して差押えが行われます。納税について誠意が認められない場合には、差押財産の公売等により税金が徴収されることとなります。このように、滞納は割に合いません。納期限を過ぎてから慌てないように、税金は納期限内に完納するようにしてください。なお、詳しくはお近くの税務相談室や税務署にお尋ねください。

三月の保健だより

- 一日 田代栄養教室
- 三日 田代生活改善センター 妊婦相談 保健センター
- 九日 肥満教室 保健センター
- 一二日 健康相談 荒谷公民館
- 一六日 宇堂口栄養教室 宇堂口農村婦人の家
- 一七日 母親学級(九時より) 開発センター
- 妊婦健診(十二時三〇分より) 保健センター
- 一八日 三歳児健診事後指導 保健センター
- 一九日 健康相談 ふるさとセンター 老人福祉センター
- 二五日 乳児相談 保健センター
- 毎週土曜日 健康相談(九時三〇分より) 保健センター

火事・救急は

一一九番へ

火災を発見した方、または救急車を要請する場合は、次の事項について早く、正確に一一九へ通報して下さい。

- 一一九番のダイヤルをまわしたら、「火事」か「救急」かをはっきり言いましょう。
- 二、正しい所・番地・目標などを言いましょう。
- 三、事故等の内容を簡単に言いましょう。
- 四、最後に通報者氏名、電話番号を言いましょう。

等に通報要領を掲示しておくことも必要です。通報実例

- ▽火災の場合 「火事です 伊保内〇〇です…(住所) 〇〇が燃えています。(目的) 〇〇が燃えています。(火災の内容) 通報者〇〇〇〇です。電話番号は〇〇〇〇番です」
- ▽救急の場合 「救急です 交通事故でケガ人があります…(事故の内容) 場所は戸田の〇〇部落です(場所) 〇〇小学校の前です…(目標) 通報者〇〇〇〇です。電話番号は〇〇〇〇です」

一一九番の利用は、緊急以外は使用しないで下さい。通常の用務は、二一三一一九番をご利用下さい。また一一九番は、普通電話より少し時間がかかりますのでその点をご留意願います。

△二戸消防署九戸分署△

以上の内容を迅速的に通報するためには、電話の設置場所や壁

カメラ・ニュース



○…健康づくり講演会が1月28日(金)保健センターで開催されました。講師には岩手県立中央病院第2外科科長の高橋正二郎医師が「乳ガンの知識について」と題して講演されました。講演では、「ガンは早期発見、早期治療が大切であると強調。村で実施しているガン検診を自分自身のために受けるべきだ」と力説した。



○…第七回九戸村老人クラブ連合会レクレーション大会が五月八日(火)午前九時から開発センターにおいて開催され、老人クラブ会員三五〇名が参加しました。開会式では、日影会長が「今日一日楽しくりたや踊りを発表して下さい」とあいさつさっそく発表に入りました。



○…岩手県書写書道教育研究会主催の第11回岩手県書写書道コンクールがこのほど行われ、学校賞に戸田小学校・伊保内小学校・九戸中学校が輝きました。二戸管内中学校では九戸中学校が4年連続の学校賞となりました。

九戸村ビデオ

広報

「みんなの広場」
三月の出演者

九戸村ビデオ広報は、一月から役場二階村民室において放送されています。このビデオ広報はビデオテープレコーダーが設置されており、簡単な操作で視聴できます。このビデオ広報は、毎月村民の方々が出演する番組です。放送時間は、朝八時三〇分から午後五時までです。土曜日は、朝八時三〇分から午後三〇分まで

です。その他日曜、祝祭日等は放送はありません。

三月の出演者は、次の方々です。

- ▽石川弘志さん(ご夫妻)(道地)
- ▽長興寺児童館近藤絹恵ちゃん
- ▽柴田 秀二さん(長興寺)
- ▽中野久美子さん(〃)
- ▽上村 ツサさん(屋形場)
- ▽江刺家小学校六年小井田賢治くん
- ▽稲森源右エ門さん(長興寺)
- ▽伊保内幼稚園高岡幸ちゃん
- ▽舞踊研究会のみなさん
- ▽宇堂口小学校六年白銀光子さん
- ▽山本久夫くん(伊保内)
- ▽戸田小学校六年山本勝くん
- ▽三沢正明さん

以上のみなさんです。今後もみなさんのところへ取材に向います

のでご協力下さいますようお願いいたします。

九戸村お知らせ

電話

二一三五〇〇番

九戸村お知らせ電話を開始しています。

このお知らせ電話には、村からの行事案内やお知らせ等が録音されています。

このお知らせ電話をご利用になりたい方は、お手元の電話から、二一三五〇〇番をダイヤルして下さい。

九戸村役場お知らせ電話は二一三五〇〇番です。

3月のごみ集め

収集区域	もえるごみ	もえないごみ
伊保内上 (荒谷～伊上)	(月曜日) 7、14、21、28	(第4金曜日) 25
戸田	(火曜日) 1、8、15、22、29	(第1金曜日) 4
伊保内下 (伊下～小倉)	(水曜日) 2、9、16、23、30	(第2金曜日) 11
長興寺 江刺家	(木曜日) 3、10、17、24、31	(第3金曜日) 18

心配ごと相談

今月の相談日

▽三月八日(火)

行政 久保秀一氏
生活一般 中山武治氏

▽三月二十二日(火)

身障 関口富太郎氏
生活一般 稲森源右エ門氏

時間は午後一時から三時まで
場所は、役場会議室です。